

みをつくし文化センター・ホール建設事業について

生活文化部生涯学習課

1 目的

細江多目的センター多目的ホールは、昭和51年に細江多目的センター(旧細江町民福祉センター・農業就業改善センター)と一体的な建物として設置されていたが、老朽化と耐震性の問題等から、平成19年4月末に閉鎖し、同年7月に取り壊した。

しかし、地域の生涯学習活動の拠点施設として利用率の高かった施設であり、地域住民から早期建設・完成が望まれているため、平成20年7月に供用開始したみをつくし文化センターの建設に引き続き、ホールの建設に着手し、平成23年1月末の完成、平成23年4月の供用開始を目指す。

2 事業内容(スケジュール)

平成19年度	基本設計
平成20年度	実施設計
平成21年度	工事発注、契約
平成22年	1月～3月 本体工事準備 4月 本体工事着手
平成23年	1月 完成 4月 供用開始予定

3 事業費 448,484千円

(財源:市債 227,000千円、文化振興基金 123,000千円)

建設工事費、機械設備工事費、電気設備工事費、工事監理委託料など

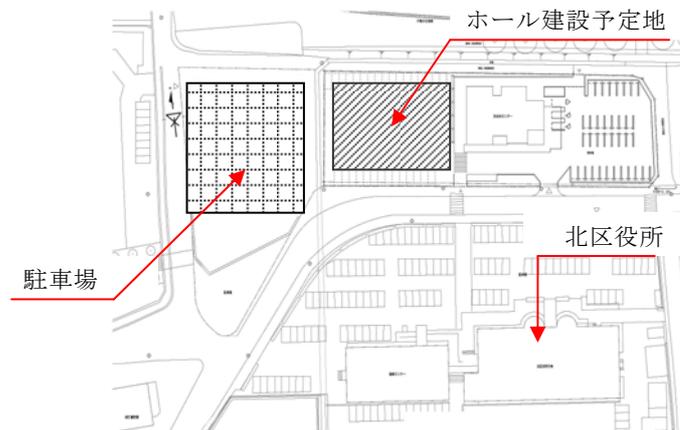
4 施設概要

建設場所:浜松市北区細江町気賀地内

構造:鉄筋コンクリート造(一部鉄骨)2階建

規模:延床面積1,200.37㎡ 496席

構成:アリーナ(平土間400㎡)、ステージ、リハーサル室、倉庫、多目的便所、ロビー等



(新規) 入野公民館機能修復工事について

生活文化部生涯学習課

1 目的

昭和54年度に設置された入野公民館は、建築後30年が経過し、内外装の劣化や空調機器等設備の老朽化が著しく、耐震診断の結果がⅡランクでやや劣る建物に位置付けられている。

また、地域住民や施設利用者からの要望があるエレベーターの設置などユニバーサルデザインに配慮した施設改修を実施し、地域に密着した施設として一層の利用者の利便性向上を図る必要がある。

このため、耐震補強を含めた施設の機能修復（リニューアル）工事を実施し、施設の適正な管理・運営を図る。

2 事業内容

- ・耐震補強工事
- ・空調設備改修工事（全体空調→個別空調）
- ・エレベーター設置工事
- ・2階増築工事（現在の平屋部分を取り壊してホール2階部分に増築し、駐車スペースを拡充する）など

3 事業費 14,500千円（公民館施設整備事業34,500千円の一部）

実施設計費委託料（耐震補強計画含む）

計画通知手数料

エレベーター計画通知手数料

4 年次計画

平成22年度 設計

平成23年度 改修工事、供用開始



現在の入野公民館外観

博物館・美術館・秋野不矩美術館の展覧会等開催事業について

生活文化部生涯学習課

(生活文化部文化財課、美術館)

1 博物館

(1) 博物館の逸品まちかど陳列事業

- ・博物館の収蔵品を民間施設等広く一般市民の利用が見込まれる場所へ陳列する
(展示先：店舗内・銀行ロビー・企業ギャラリーなど)

(2) 分館台帳作成と地域連携事業

- ・分館資料の台帳作成やデジタル化を地域住民と共に行い、地域の歴史資料を地域住民自らが守り伝える意識を高め、歴史文化の継承の担い手を育成

(3) はままつものづくり展 オートバイ列伝

- ・平成 22 年 7 月 24 日(土)～8 月 29 日(日)
浜松の主要産業であるオートバイを取り上げ、ライラック号など市内ゆかりのオートバイの記録、広告、写真を紹介

2 美術館

(1) 古代カルタゴとローマ展

- ・平成 22 年 4 月 17 日(土)～5 月 30 日(日) 共催 静岡第一テレビ
古代文明のカルタゴ遺跡群の名品など 160 点を展示

(2) オートバイデザインの半世紀展

- ・平成 22 年 7 月 24 日(土)～8 月 29 日(日) 共催 静岡新聞社・静岡放送
芸術性の高いオートバイデザインを展示し、ものづくりの聖地浜松”のインダストリアルデザイナーたちの足跡を辿る

(3) 20 世紀フランス絵画展

- ・平成 22 年 9 月 9 日(木)～10 月 11 日(月) 共催 中日新聞社東海本社
山形美術館所蔵のピカソ、シャガール、ピュッフェ、カシニョールなどの人気作家 58 人の作品 60 点を展示

(4) 志村ふくみ展

- ・平成 22 年 10 月 23 日(土)～11 月 21 日(日) 共催 静岡新聞社・静岡放送
植物による染色を極め、繊織りによる独自の表現を開拓した染織家(人間国宝)志村ふくみの作品を展示

3 秋野不矩美術館

(1) 万葉のこころを描く

- ・平成 22 年 4 月 23 日(金)～6 月 6 日(日) 共催 読売新聞東京本社
万葉集が一番最後に詠まれてから 1250 年を迎えたことを記念して開催する展示

(2) 秋野不矩・梶原緋佐子・北澤映月三人展

- ・平成 22 年 10 月 9 日(土)～11 月 14 日(日) 共催 静岡新聞社・静岡放送
三人の女性画家・秋野不矩、梶原緋佐子(かじわらひさこ)、北澤映月(きたざわえいげつ)の作品を通じて京都画壇の女性画家の一時代を展示

(3) 宮脇綾子展

- ・平成 23 年 2 月 19 日(土)～3 月 27 日(日) 共催 中日新聞東海本社
秋野不矩と同様、第二次世界大戦後の開放感あふれる世情の中で創造力を発揮したアプリケ創作の第一人者、宮脇綾子(みやわきあやこ)の作品を展示

(新規) 子ども移動図書館車運行事業について

生活文化部中央図書館

1 目的

天竜区の狭い道路や限られた駐車スペースに対応できる小型車両を用いた、子ども移動図書館車を導入し、図書館サービスが行き届きにくい地域である天竜区の図書館サービスの向上を図る。

2 事業内容

(1) 子ども移動図書館車の配置・運行

配置場所：天竜図書館

巡回施設：天竜区内の幼稚園・保育園・小中学校及び福祉施設等

運行回数：1施設につき月1回程度（予定）

業務内容：子ども移動図書館車で対象施設を巡回し、児童等を対象に車内の図書の出し入れ・返却業務を行う。

(2) 図書館間の図書回送

郵送で実施している天竜・春野・佐久間・水窪・龍山図書館の図書回送を副次的に実施し、図書搬送の効率化を図る。

(3) 事業開始時期

平成22年9月（予定）

3 事業費 8,918千円（財源：ふるさと北遠振興基金 7,500千円）

車両購入費（改造費込み）

運行委託費



流通元町図書館運営事業について

生活文化部中央図書館

1 目的

図書館サービスが手薄となっている東区東部地域（長上・笠井地区）に「流通元町図書館」を整備し地域住民の生涯学習ニーズに応えるもの。

2 事業内容

浜松市産業展示館北館1階を改修し、図書・雑誌等の閲覧及び予約本等の貸し出し・返却機能を主とした地区図書館として「流通元町図書館」を整備。

平成22年度は、工事が完了次第、開館準備業務及び開館運営を行う。

3 事業費 32,880千円

図書購入費

指定管理委託料

システム改修委託料

初度調弁費（テーブル、ロッカー等）

工事費（館内看板等設置） など

4 施設概要

開館場所：浜松市東区流通元町20番2号

構造：鉄筋鉄骨コンクリート造 地下1階地上4階建の1階部分
延床面積630㎡

5 年次計画

平成22年 3月 工事入札、契約

平成22年 5月～10月 工事（6ヶ月）

平成22年11月～12月 開館準備

平成23年 1月 開館



産業展示館北館外観

地域防災無線整備事業について

生活文化部危機管理課

(総務部危機管理課)

1 目的

大規模地震発生時には、人命救助・被害拡大防止・避難所開設などのための迅速かつ正確な情報収集、本庁と出先機関や防災関係機関等との確実な命令・指令の伝達が必要不可欠である。

現在、旧浜松・浜北地域は周波数の異なるアナログ方式の地域防災無線を使用しているが、総務省より平成 23 年 5 月までのデジタル化を求められているため、地域防災無線のデジタル化を進める。

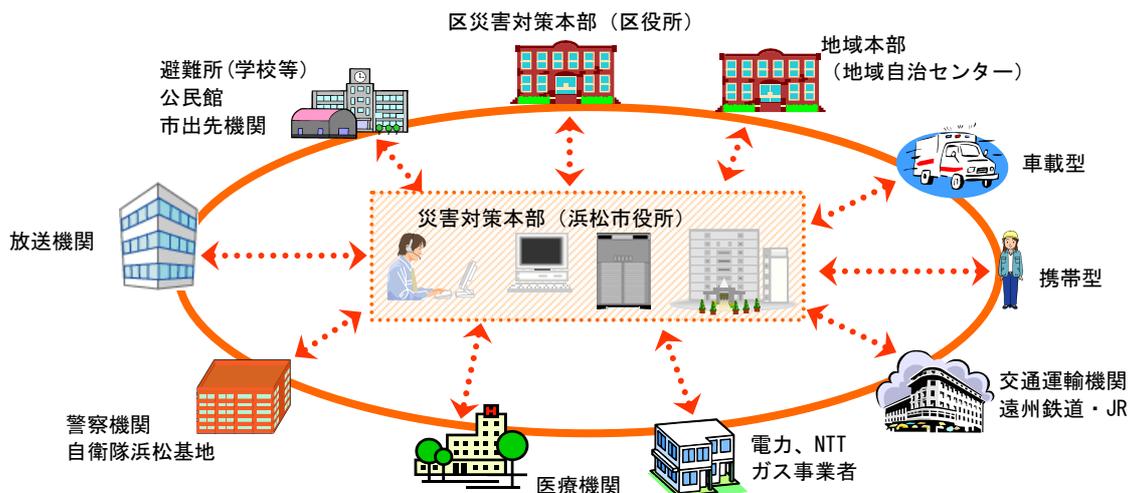
2 事業内容

- (1) 旧浜松、浜北地域の地域防災無線をデジタル無線に更新する。
- (2) 市役所本庁に統制局、消防局に副統制局、浜北区に中継局を 1 箇所設置し、区役所や避難所、防災関係機関等に子局を 379 台整備する。

(3) 事業計画

平成 19、20 年度	基本設計及び実施設計
平成 21、22 年度	統制局整備工事（市役所、消防局） 中継局整備工事（浜北区太平洋富士見平） 子局整備工事（379 台…旧浜松、浜北の区役所、避難所等） 北区尉ヶ峰中継局の実施設計、地質調査
平成 23 年度～	北区尉ヶ峰中継局整備工事 旧浜松・浜北以外の地域を順次整備

3 事業費 189,436 千円（市債 179,900 千円）



※域防災無線をデジタル化し、周波数を統一することにより、旧浜松・浜北地域では上図のように避難所や関係機関と相互に連絡を取ることが可能になる。